

# 10月給食だより

栃木市マスコット  
キャラクター  
「とち介」  
栃木市立西方小学校  
給食共同調理場



さわやかな風が吹き、少しずつ秋の訪れを感じられるようになりました。今年の「十三夜」は、10月18日です。十三夜は、季節の収穫に感謝をしてお月見する日本の風習です。秋は「実りの秋」というように、たくさんの旬の食材が収穫できる時期です。豊富な旬の食材に感謝して、秋の味覚を楽しんでみてはいかがでしょうか。給食では、西方町や栃木県内でとれる食材を使用し、季節感のある給食作りに努めていきたいと思えます。



## 10月は食品ロス削減月間

## 10月30日は食品ロス削減の日



減らそう!  
食品ロス

食べられるのに捨てられる

### 食品ロス



食品ロスには、売れ残りや期限が切れたもの、調理の時の皮のむきすぎ、食べ残しなどがあります。食品ロスは食べ物が無駄になり、とてももったいないことです。食品ロスを減らすためには、家庭や社会全体でさまざまな取り組みを行うことが必要です。

## 日本の1年間の食品ロス 約600万トン

日本の食品ロスは1年間で約600万トン（2020年度推計値）です。食品メーカーや飲食店などからは約324万トンが、一般家庭からは約276万トンが発生しています。日本は多くの食べ物を輸入していますが、その一方で、大量の食べ物を捨てています。

食品メーカー  
などの食品ロス



約324万トン

家庭の食品ロス



約276万トン

※2020年度の推計値です。  
推計値は農林水産省・環境省から公表されます。

## 世界の食料援助量よりも多い!

2020年の世界の食料援助量は約420万トンでした。つまり日本では、世界の食料援助量よりも多い食べ物が捨てられています。

## すぐにできる 食品ロスを減らす方法

残さず  
食べよう



自分でできる!  
家族と取り組む!



家庭の食品ロスを減らすためには、必要なものだけを行い、余った食材や料理は別の料理に活用して食べきるようにします。また、加工食品の

期限表示を正しく理解することが大切です。家族で協力して取り組みましょう。

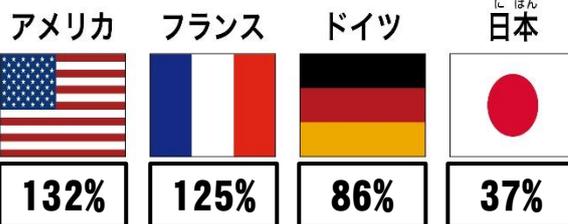


## Q. どうして食品ロスが問題なの?

A. 日本の食料自給率は低く、多くの食料を輸入しています。それにもかかわらず、大量の食料が捨てられています。食料そのものが無駄になるだけではなく、食料をつくらたり運んだりするために使ったエネルギーやごみを処分するために余分なエネルギーを消費しているのです。



## 世界の食料自給率くらべ



※日本は2021年度、その他の国は2020年の値。  
農林水産省

日本の食料自給率（カロリーベース）は、37%です。世界の食料自給率と比べてみると、アメリカは132%、フランスは125%、ドイツは86%で、日本は先進国の中でも最低の水準です。